

開講年次・時期	1年後期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	介護過程Ⅱ	担当者名	芳賀砂智子(実務家教員)
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程が個別ニーズを把握し、計画的に実践・評価して科学的な問題解決方法であることを理解する。</li> <li>・介護過程の一連の展開方法を身につける。</li> </ul>				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識と技術を統合し、介護過程を展開できる能力を身につける。</li> <li>・多職種協働と連携を理解する。</li> </ul>				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑧主体性(20) ⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの習熟と専門用語を調べる。</li> <li>・予習・復習に関しては、それぞれ2時間程度の学習をすること</li> </ul>				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わり、又は次の授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	・授業内、決められた期日までの課題提出と、期末試験で合格基準を満たすことを単位認定要件とする。				
評価の方法・割合(%)	・期末試験(60) ・小テスト(20) ・提出物(20)				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。 遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			アセスメント1用紙を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
2			アセスメント2用紙を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
3			「介護計画の立案」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
4			社会資源活用方法を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
5			「介護支援の実施」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
6			利用者と家族の関係を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
7			「評価」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
8			記録方法を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
9			ICF視点を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
10			不足情報を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
11			「介護過程の実践的展開」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
12			生活環境の変化と課題を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
13			アセスメント3用紙を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
14			病気と介護計画の関係性を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
15			「介護過程展開の実際」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
16			障害と介護計画の関係性を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
17			アセスメント4用紙を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
18			行動制限やリスクを理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
19			アセスメント4用紙を実践する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
20			モニタリングの注意事項を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
21			アセスメント1用紙を作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
22			アセスメント1用紙を確認する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
23			アセスメント2用紙を作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
24			アセスメント2用紙を確認する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
25			「介護過程とケアマネジメントの関係性」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
26			多職種協働と介護過程の関係性を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
27			アセスメント3用紙を作成する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
28			アセスメント3用紙を確認する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
29			「チームアプローチにおける介護福祉士の役割」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
30			チームアプローチと介護過程展開方法を理解する。	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
期末試験			まとめと確認		

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第9巻「介護過程」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--